

## 研修会用追加マニュアル



サンユー販売株式会社



## 内容

貼り分けがある物件の入力 .....	4
グループ分けのための設定 .....	4
グループ分けの入力方法 .....	4
外壁の途中から貼り分けたい場合 .....	5
数値指定コピー .....	6
数値指定コピー 設定方法 .....	6
数値指定コピー 解除方法 .....	6
チェックモードの使い方 .....	8
チェックモードの開き方 .....	8
入力の確認 .....	8
入力の修正 .....	9
入力の一括変更・削除 .....	9
結果の Excel 出力 .....	10
積算結果 .....	10
拾い出し書 .....	11
目地の編集 .....	12
縦(横)目地移動 .....	12
割付編集 .....	13
自動縦目地移動 .....	14
編集をリセットしたい場合 .....	14
屋根: 立面図モードと屋根伏図モードの違い .....	16
屋根立面図モード .....	16
屋根伏図モード .....	17
各モードを使うメリット・デメリット .....	17
屋根: 立面図からの拾い .....	18
勾配を設定してから入力する .....	18
棟や谷を重複して拾わないように .....	18
(勾)が付いた部材の使い方 .....	19
その他 立面図から拾う注意点 .....	19

## 貼り分けがある物件の入力

貼り分けがある物件は、**グループ**を分けて入力します。

### グループ分けのための設定

【**部材設定**】画面で、貼りたい数だけグループを切替えて部材を設定します。  
グループ名を分かりやすく設定したい場合は、【**グループ名の変更**】で名前を変えることができます。

【**割付設定**】も使いたいグループ分、設定を行ってください。

#### 部材設定

#### 割付設定

グループ名の変更

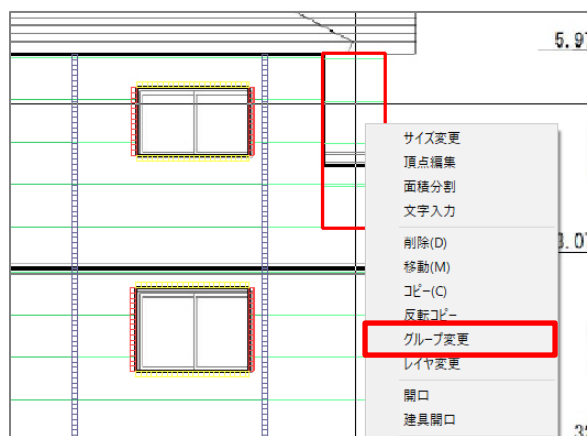
エリア作成に戻る

割付部材設定に進む

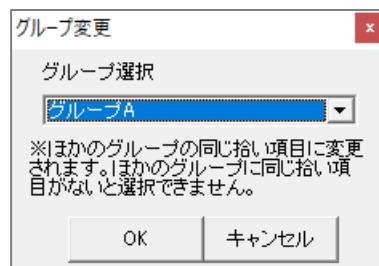
メイン | アクセント | グループC | グループD

### グループ分けの入力方法

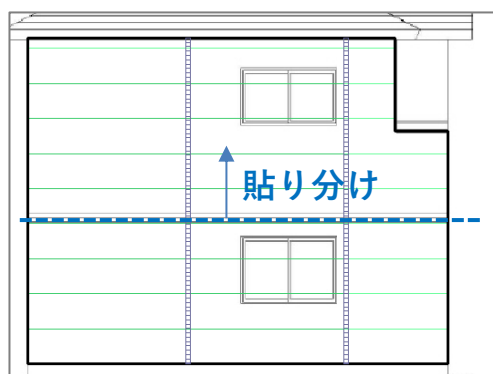
入力時は、グループ名を切り替えながら入力を行ってください。  
基本的には、グループ切替→入力の手順になります。



入力後にグループを変えたい場合は、入力の上で右クリック→【グループ変更】を行ってください。



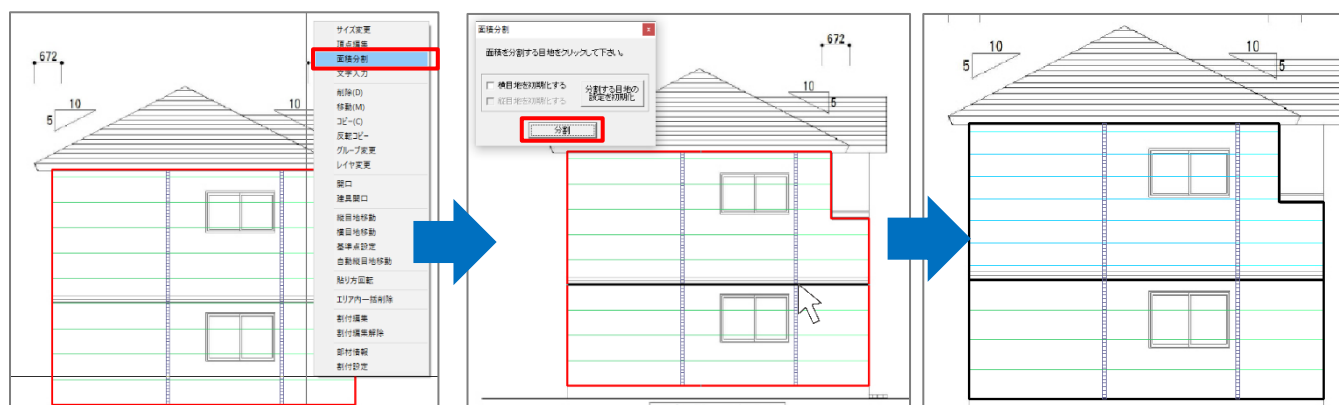
## 外壁の途中から貼り分けたい場合



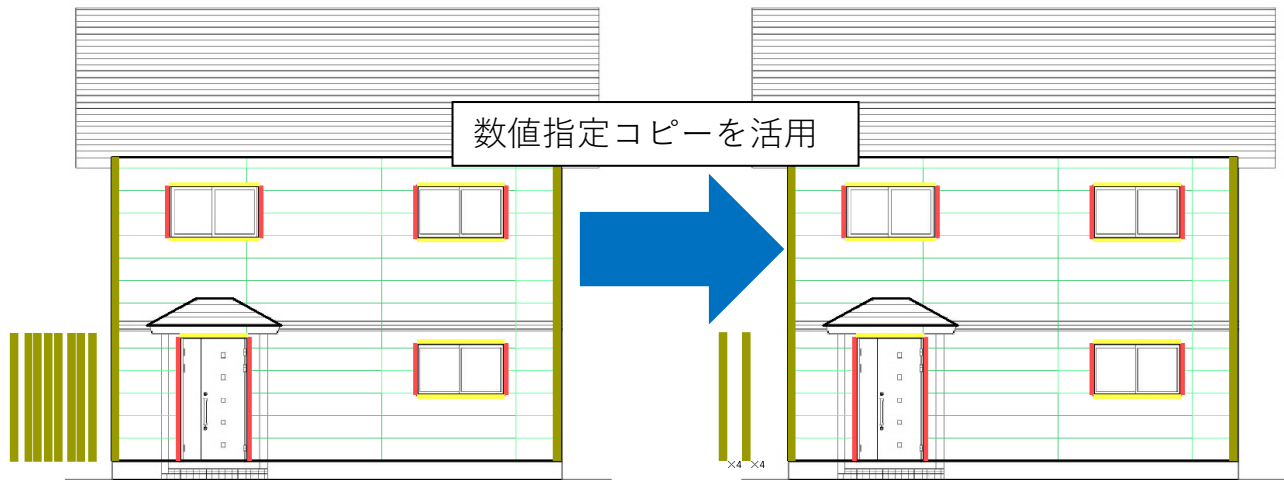
「4 段目から貼り分けたい」など、すでに入力している面を分割して貼り分ける場合は、**面積分割→グループ変更**の順に行います。

### 《設定方法》

- ① 面積を右クリックし、【面積分割】をクリックします。
- ② 分割したい目地をクリックし、【分割】を押します。
- ③ 選んだ目地で面が分かります。種類を変えたい面をグループ変更してください。



## 数値指定コピー

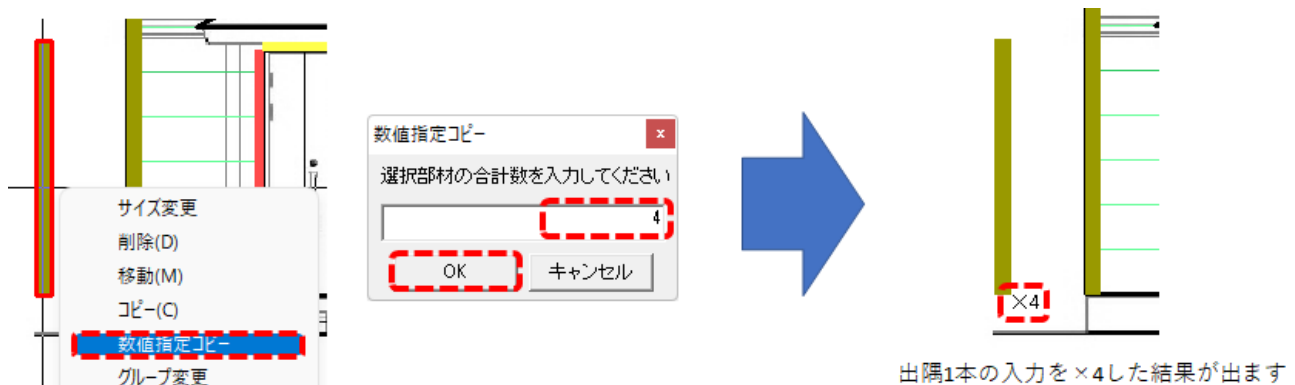


上記の図面のように柱がある場合などは、同じ長さの出隅が複数本必要になります。同じサイズの部材を複数入力したい場合、【数値指定コピー】機能で効率的に拾うことができます。

※面積と開口には使えません

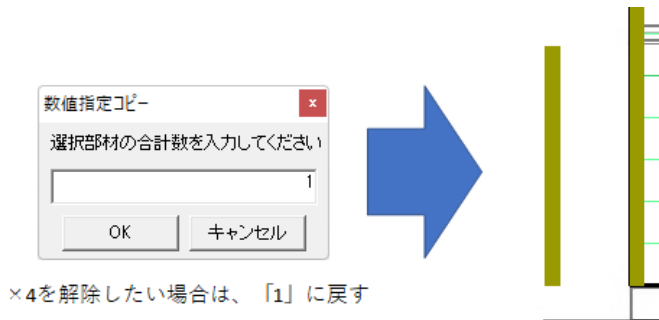
### 数値指定コピー 設定方法

- ① 数値指定コピーする入力(例：出隅)を右クリックし、【数値指定コピー】をクリック
- ② 【数値指定コピー】画面が開いたら、コピーしたい数を入力して【OK】  
例：選択した出隅を含めて4本にしたい場合、「4」と設定。



### 数値指定コピー 解除方法

【数値指定コピー】画面を開き、「1」と設定します。



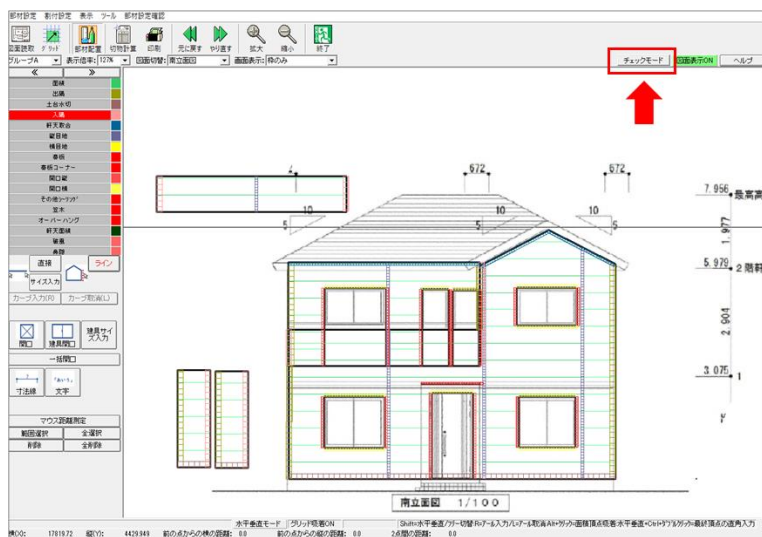
×4を解除したい場合は、「1」に戻す



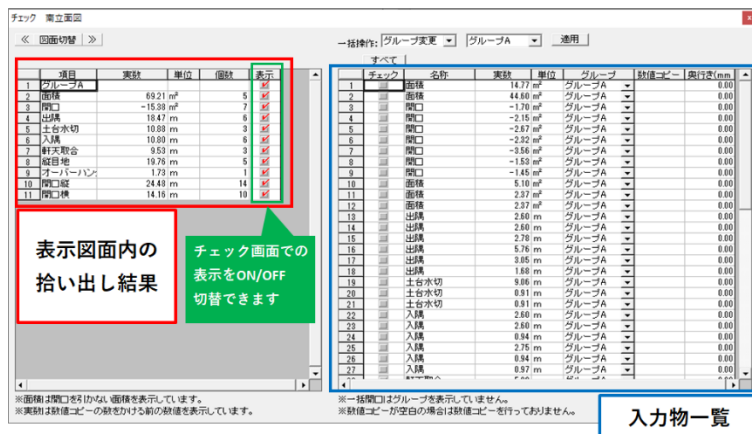
## チェックモードの使い方

坪拾いで入力したものを確認・修正するには「チェックモード」が便利です。  
使い方をご紹介します。

### チェックモードの開き方



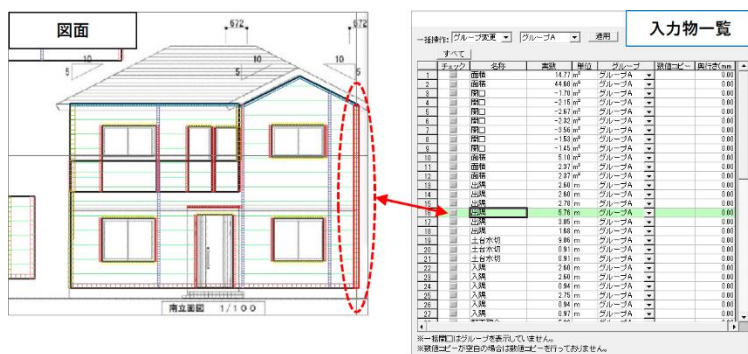
入力画面右上の【チェックモード】ボタンを押します。



チェックモード画面が開きます。  
画面左側→現在表示している図面  
内での、拾い出し結果です。  
画面右側→現在表示している図面  
内での、入力物一覧です。

左側の表示 ON/OFF を切り替える  
ことで、チェック中に表示する項目  
を絞り込みできます。

### 入力の確認



チェック表の入力物一覧の行をク  
リックすると、その部分に該当する  
部材が図面上で赤く囲われます。  
反対に、図面上の部材の上で右クリ  
ックすると、その部分に該当する入  
力物一覧の行が緑色になります。

入力を1行ずつにチェックし、入力  
漏れや重複がないか確認してくだ  
さい。



## 入力修正

入力物一覧					変更可	
すべて	チェック	名称	実数	単位	グループ	数値コピー
1	<input type="checkbox"/>	面積	14.77	m <sup>2</sup>	グループA	奥行き(mm)
2	<input type="checkbox"/>	面積	44.60	m <sup>2</sup>	グループA	0.00
3	<input type="checkbox"/>	開口	-1.70	m <sup>2</sup>	グループB	0.00
4	<input type="checkbox"/>	開口	-2.15	m <sup>2</sup>	グループC	0.00
5	<input type="checkbox"/>	開口	-2.67	m <sup>2</sup>	グループD	0.00
6	<input type="checkbox"/>	開口	-2.32	m <sup>2</sup>	グループE	0.00
7	<input type="checkbox"/>	開口	-3.56	m <sup>2</sup>	グループF	0.00
8	<input type="checkbox"/>	開口	-1.53	m <sup>2</sup>	グループA	0.00
9	<input type="checkbox"/>	開口	-1.45	m <sup>2</sup>	グループA	0.00

チェックモードから変更できるのは

①グループ ②数値コピーの数 ③奥行き（軒天面積などで使用可）です。

一覧から1項目ずつ変更できます。

数字を入力する列は枠をダブルクリックすると編集できます。

## 入力の一括変更・削除

入力を一括編集することも可能です。

一括操作できるのは、①グループ変更 ②数値コピーの数変更 ③削除 です。

入力一覧で変更（削除）したい項目をチェックし、一括で行う操作を選択→適用してください。

②一括で行う操作を選択

一括操作: グループ変更 ▼ グループB ▼

一括操作: 数値コピー ▼ 2

一括操作: 削除 ▼

入力物一覧

一括操作: グループ変更 ▼ グループA ▼ 適用

③適用

すべて	チェック	名称	実数	単位	グループ	数値コピー	奥行き(mm)
1	<input checked="" type="checkbox"/>	面積	14.77	m <sup>2</sup>	グループA		0.00
2	<input checked="" type="checkbox"/>	面積	44.60	m <sup>2</sup>	グループA		0.00
3	<input checked="" type="checkbox"/>	開口	-1.70	m <sup>2</sup>	グループA		0.00
4	<input checked="" type="checkbox"/>	開口	-2.15	m <sup>2</sup>	グループA		0.00
5	<input checked="" type="checkbox"/>	開口	-2.67	m <sup>2</sup>	グループA		0.00
6	<input checked="" type="checkbox"/>	開口	-2.32	m <sup>2</sup>	グループA		0.00
7	<input checked="" type="checkbox"/>	開口	-3.56	m <sup>2</sup>	グループA		0.00
8	<input checked="" type="checkbox"/>	開口	-1.53	m <sup>2</sup>	グループA		0.00
9	<input checked="" type="checkbox"/>	開口	-1.45	m <sup>2</sup>	グループA		0.00
10	<input checked="" type="checkbox"/>	面積	5.10	m <sup>2</sup>	グループA		0.00
11	<input checked="" type="checkbox"/>	面積	2.37	m <sup>2</sup>	グループA		0.00
12	<input checked="" type="checkbox"/>	面積	2.37	m <sup>2</sup>	グループA		0.00
13	<input checked="" type="checkbox"/>	出隅	2.60	m	グループA		0.00
14	<input checked="" type="checkbox"/>	出隅	2.60	m	グループA		0.00
15	<input checked="" type="checkbox"/>	出隅	2.78	m	グループA		0.00
16	<input checked="" type="checkbox"/>	出隅	5.76	m	グループA		0.00
17	<input checked="" type="checkbox"/>	出隅	3.05	m	グループA		0.00
18	<input checked="" type="checkbox"/>	出隅	1.68	m	グループA		0.00
19	<input checked="" type="checkbox"/>	土台水切	9.06	m	グループA		0.00
20	<input checked="" type="checkbox"/>	土台水切	0.91	m	グループA		0.00
21	<input checked="" type="checkbox"/>	土台水切	0.91	m	グループA		0.00
22	<input checked="" type="checkbox"/>	入隅	2.60	m	グループA		0.00
23	<input checked="" type="checkbox"/>	入隅	2.60	m	グループA		0.00
24	<input checked="" type="checkbox"/>	入隅	0.94	m	グループA		0.00
25	<input checked="" type="checkbox"/>	入隅	2.75	m	グループA		0.00
26	<input checked="" type="checkbox"/>	入隅	0.94	m	グループA		0.00
27	<input checked="" type="checkbox"/>	入隅	0.97	m	グループA		0.00

①変更したい項目にチェックを入れる

※注意※ チェックモードから部材を削除した場合、もとに戻すことはできません。慎重に削除を行ってください。

# 結果の Excel 出力

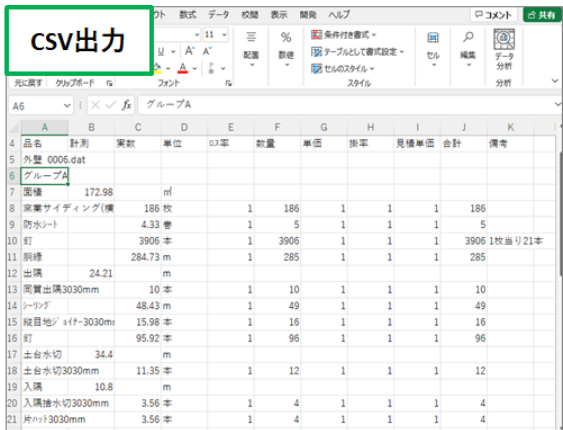
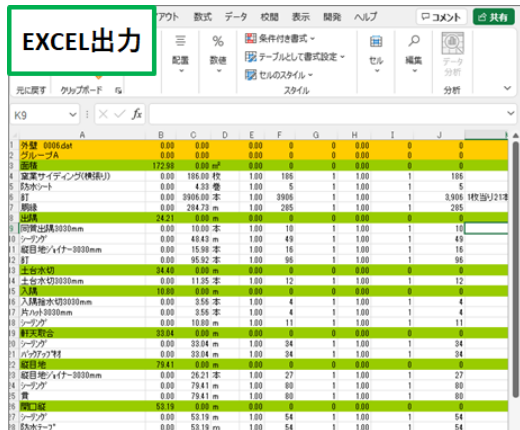
坪拾いでは、積算結果と拾い出し書を Excel（CSV）出力できます。

## 積算結果

積算結果画面は Excel もしくは CSV で出力が可能です。

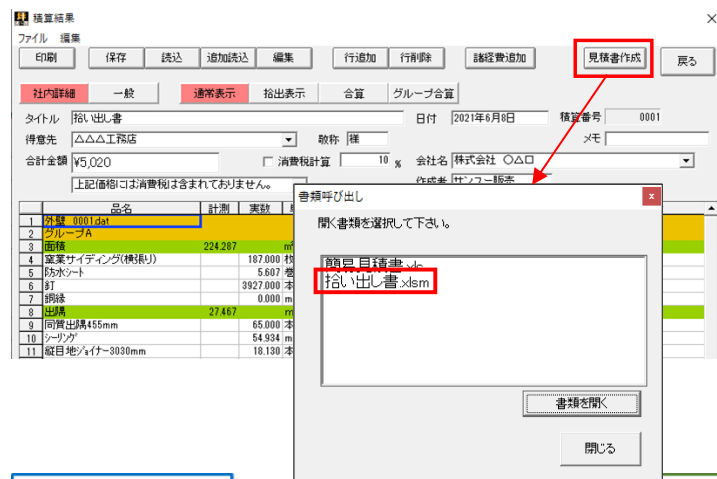


《出力方法》  
積算結果画面の左上、【積算結果表の出力】を押します。  
【CSV 出力】か【エクセル出力】を選択します。  
それぞれ、下図のようなイメージで出力されます。



## 拾い出し書

積算結果から印刷できる『拾い出し書』は Excel でのみ出力可能です。  
拾い出し書の書式（色・フォントなど）を変更したい、拾い出し書をデータとして残しておきたいという場合は Excel 出力が便利です。



### 《出力方法》

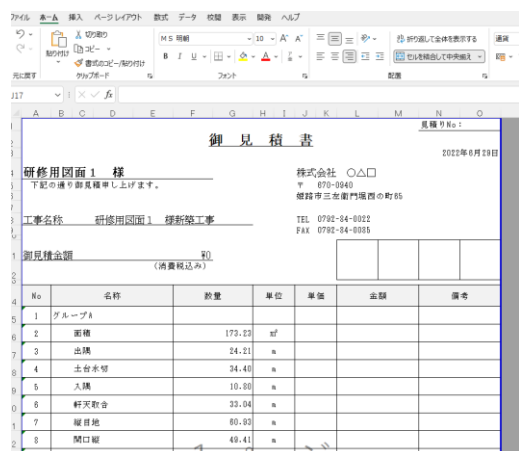
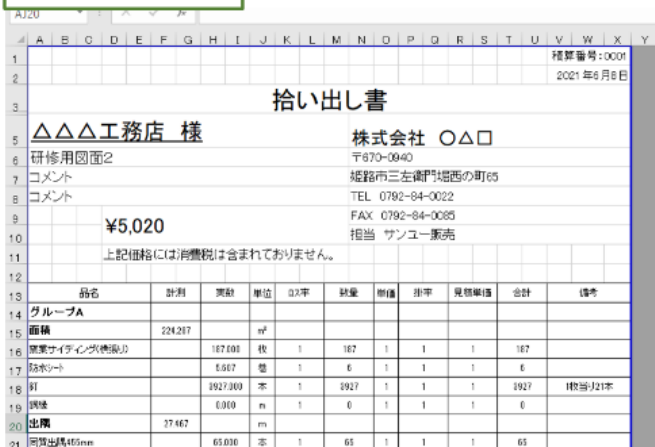
積算結果画面の右上【見積書作成】ボタンをクリックします。

「拾い出し書.xlsm」を選択すると、拾い出し書が Excel で出力されます。

### 通常の印刷モードの場合



### エクセルに出力した場合



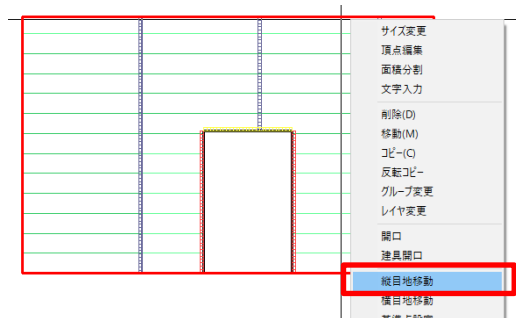
※書類呼び出しで「簡易見積書」を選んだ場合、左図のような Excel が出力されます。  
拾い項目ごとの㎡数や m 数が出ますので、自身で単価を入力して金額の計算ができます。

## 目地の編集

坪拾いでは基本的に、外壁の左下から板を割付します。  
目地の位置を調整したい場合は、「縦（横）目地移動」もしくは「割付編集」を使います。

### 縦（横）目地移動

今ある板の幅はそのままに、全体的に目地の動かしたい場合に使います。

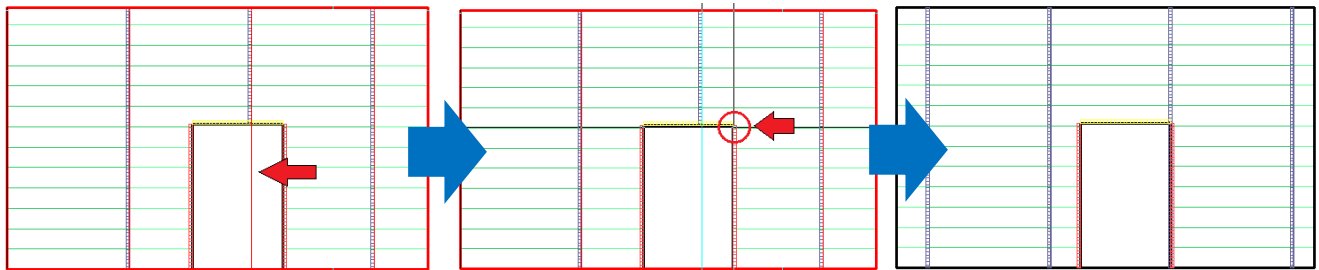


面積を右クリックし、【縦目地移動】または【横目地移動】を選択します。

移動距離を指定する方法は以下の2種類です。

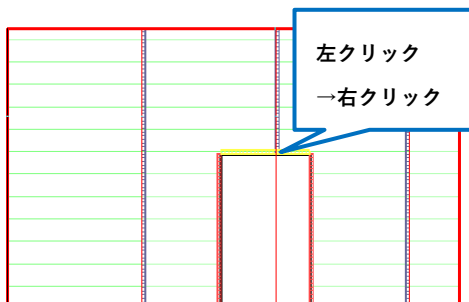
《クリックで指定する場合》

- ① 動かす基準となる目地をクリックで選択します。
- ② 目地の移動先でもう一度クリックします。



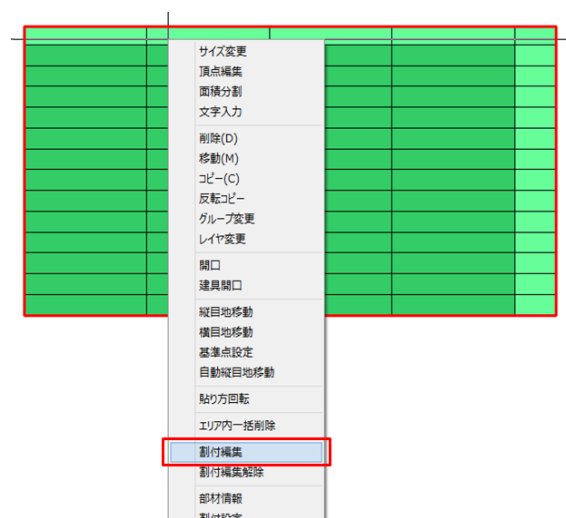
《数値で指定する場合》

- ① 選びたい目地の上で、左クリック→右クリックします。
- ② オフセット値を入力する画面が出ます。  
縦目地の場合 **正数**を入れると**右**へ、**負数**を入れると**左**へ動きます。  
横目地の場合 **正数**を入れると**下**へ、**負数**を入れると**上**へ動きます。

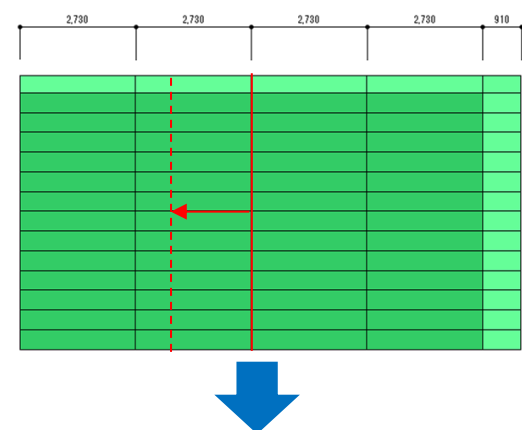


## 割付編集

板の幅を部分的に調整したい場合に使います。  
割付設定で設定した部材サイズの範囲内で、調整が可能です。



面積の上で右クリックして、【割付編集】を選択します。



幅を変更したい板の**右側**※の目地を左クリックで選択します。

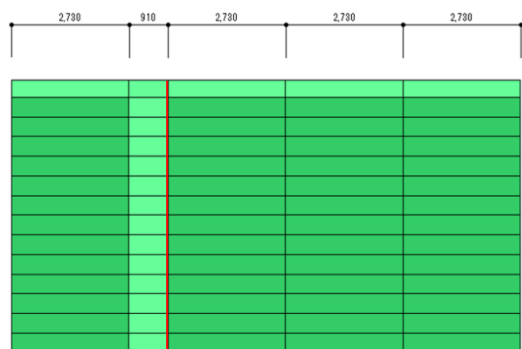
※縦幅を変更したい場合は**上側**

《クリックで板の幅を指定したい場合》

→板の右端（上端）になる部分で、もう一度左クリックします。

《板の幅を選択数値で指定したい場合》

→右クリックすると数値を入力する画面が出るので、板の幅を入力します。

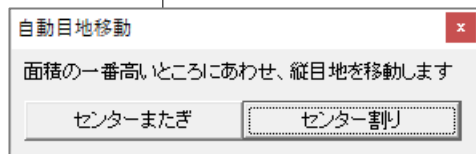


## 自動縦目地移動

中央から板を割付したい場合に使用します。

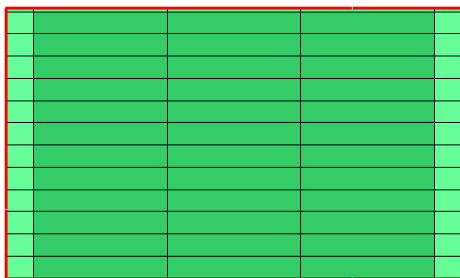


面積の上で右クリックし、【自動縦目地移動】を選択します。

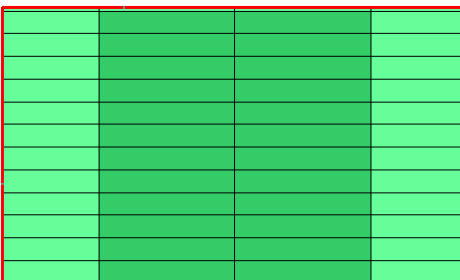


選択画面が出てきます。

「センターまたぎ」→板の中央がセンター  
「センター割り」→縦目地がセンター  
選択すると目地の位置が動きます。

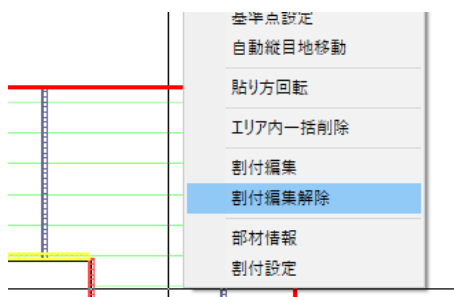


←センターまたぎ



←センター割り

## 編集をリセットしたい場合



目地移動や割付編集をリセットしたい場合は、面積を右クリックして【割付編集解除】を押します。初期の割付に戻ります。



## 屋根：立面図モードと屋根伏図モードの違い



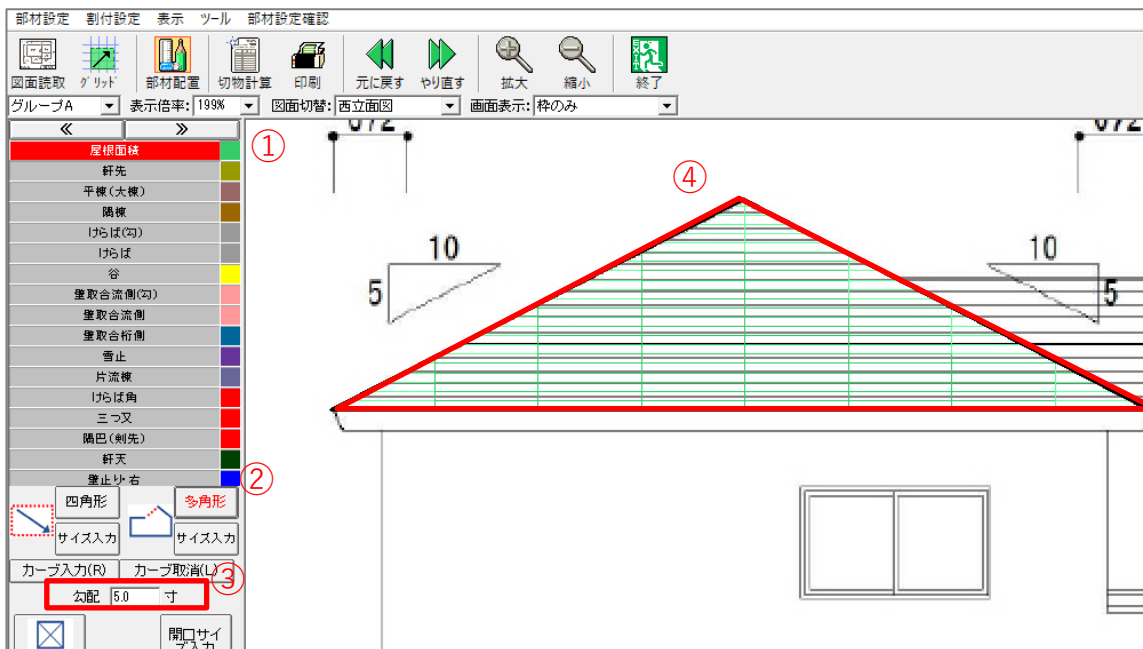
坪拾いでの屋根の拾い方は2種類あります。  
「立面図モード」と「屋根伏図モード」です。  
2つのモードの違いをご説明します。

### 屋根立面図モード

立面図を読み込ませ、屋根の絵をなぞることで拾い出します。

#### 屋根立面図からの拾い方

- ① 拾い出す項目を選択します。
- ② 入力方法を選択します。
- ③ 勾配を設定します。
- ④ 図面上をクリックでなぞります。



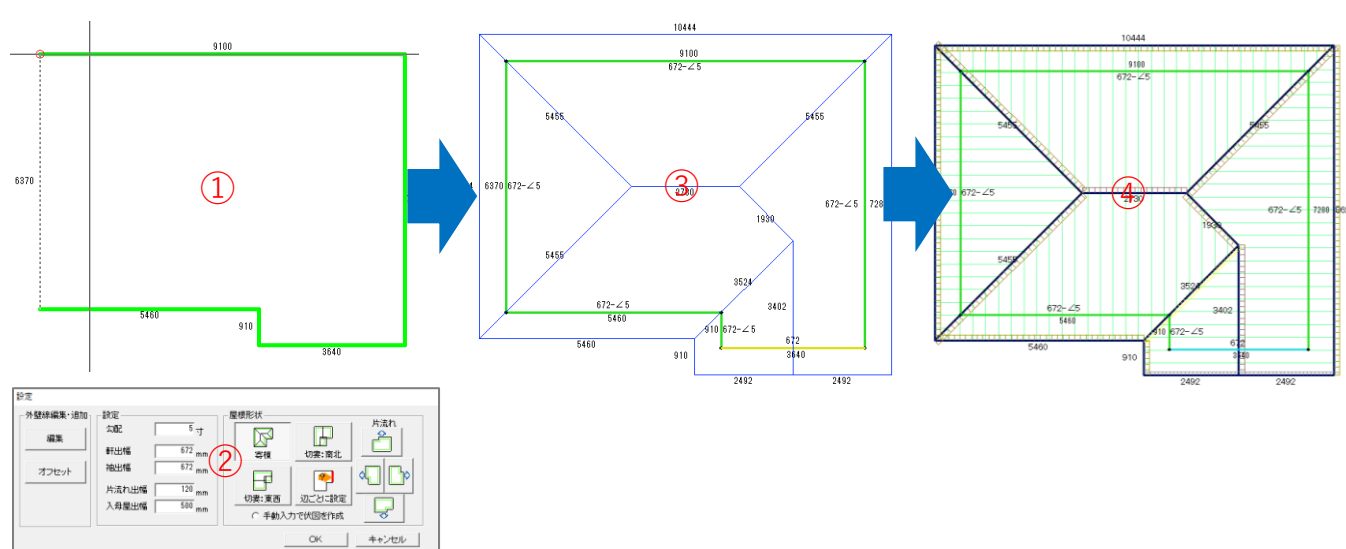


## 屋根伏図モード

平面図・立面図の情報をもとに、白紙図面に屋根伏図を作図し、その上に部材を割り当てて拾い出します。

### 屋根立面図の拾い方

- ① 平面図を参考に、外壁線を作図します。
- ② 屋根の勾配・出幅・形状を設定します。
- ③ 立面図と照らし合わせながら、形状を編集します。
- ④ 「屋根材割付」ボタンを押すと、材料が自動配置されます。積算完了です。



※屋根伏図面をお持ちの場合は、立面図と同様に図面を読み込んでなぞって拾うことも可能です。

## 各モードを使うメリット・デメリット

### 立面図モード

#### メリット

- ・なぞるだけで拾えるので操作が簡単
- ・壁樋まで拾える

#### デメリット

- ・勾配の緩い屋根になるほど、クリックのずれによる面積誤差が大きくなる
- ・隠れている部分を拾い漏れる可能性がある

### 屋根伏図モード

#### メリット

- ・寸法を入力して作図するので、面積誤差が少ない
- ・シンプルな屋根だと、屋根材を自動で割付できる

#### デメリット

- ・複雑な形状の屋根は作図が難しい
- ・屋根を上から見た形を想像する必要がある

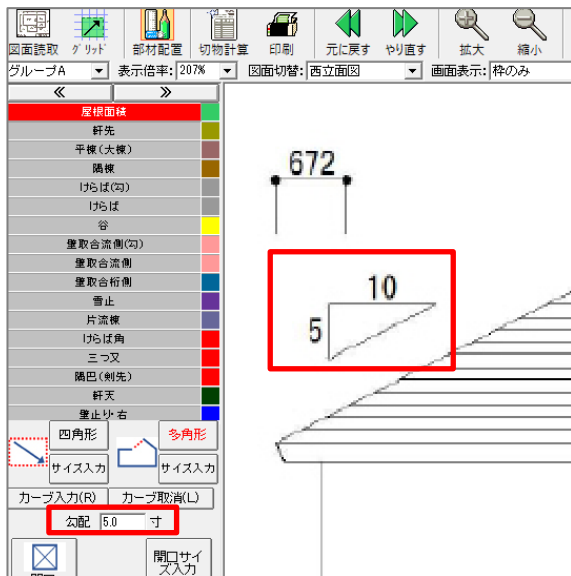
## 屋根：立面図からの拾い

屋根を立面図から拾う方法です。

屋根立面図モードで図面を読み込み、図面の屋根の絵をなぞって拾い出します。

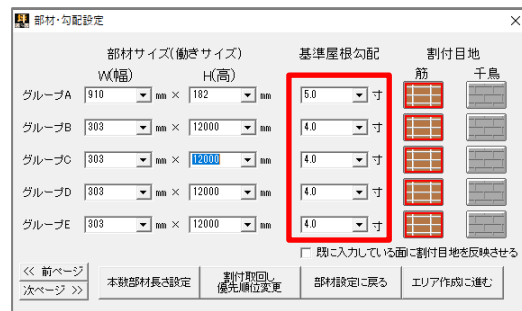
基本的な拾い方は外壁と同じですが、立面図から屋根を拾う際に注意すべき点をいくつかご紹介します。

### 勾配を設定してから入力する



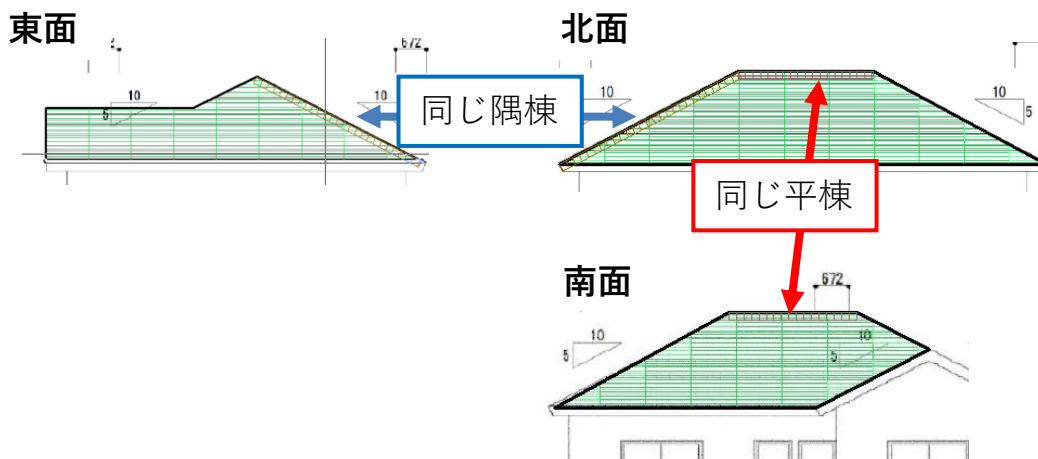
立面図に記載されている勾配をもとに、適切な勾配を設定してから入力を行ってください。

[部材・勾配設定]であらかじめ設定しておく、ミス防止になります。



### 棟や谷を重複して拾わないように

棟や谷などは面をまたぐ部材ですので、両方の面で拾ってしまうと重複になります。片方の面だけで拾うよう、注意しましょう。



## (勾) が付いた部材の使い方

「けらば」・「壁取合流側」のように、(勾) が付いているものと付いていないものが二種類用意されている部材の使い方です。

(勾) は、なぞった長さに勾配係数をかけるという意味です。

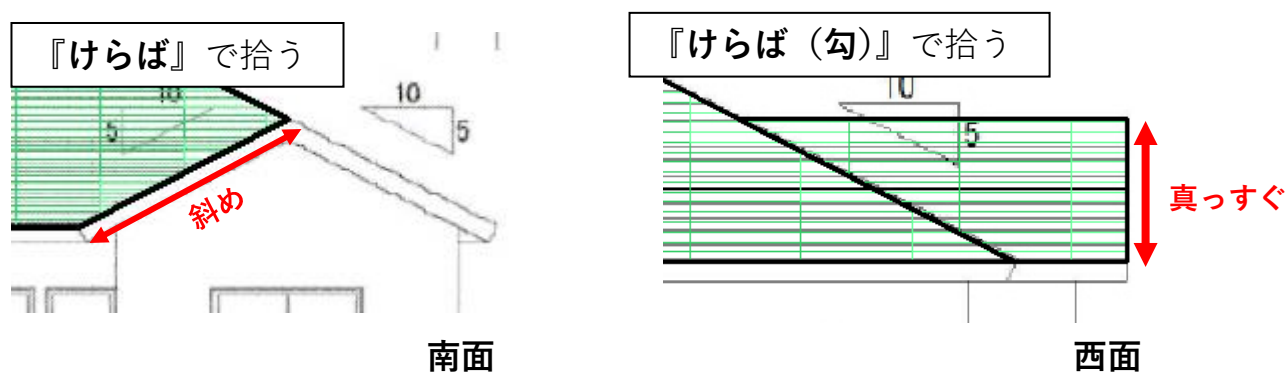
斜めの部分をなぞる場合は、勾配係数をかける必要がないため、(勾) が付いていない部材で拾います。

もし斜め部分がどの面からも見えない場合は、真っすぐな部分を (勾) が付いた部材で拾いましょう。

基本的に立面図は 4 方向から確認できますので、勾配が掛かった斜め部分が見えていることが多いです。

そのため基本的には、(勾) が付いていない方を使用するのがおすすめです。

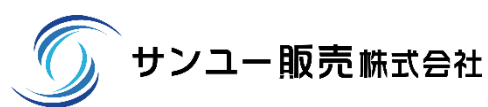
なぞった長さそのままなので、誤差が少なくなります。



## その他 立面図から拾う注意点

立面図から拾う場合、勾配が緩くなればなるほど、クリックのずれによる誤差が大きくなります。

3 寸未満の緩勾配の屋根は、屋根伏図モードで拾うことをおすすめします。



作 成 者	サンユー販売株式会社
最終更新日	2023 年 9 月 11 日

<https://www.sanyu-hanbai.com/>

サポートセンターフリーダイヤル：0120-840-822

9:00~12:00・13:00~17:30（指定土曜・日曜・祝日を除く）